

箕面市立多世代交流センター 利用者等の意見交換会

～ご意見に対する指定管理者の考え・対応～

令和 2 年 12 月

指定管理者

社会福祉法人ひじり福祉会

利用者等による意見交換会

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者名	社会福祉法人ひじり福祉会
開催日	令和 2 年(2020 年)11 月 11 日午前 10 時 30 分～11 時 30 分
開催場所	箕面市立多世代交流センター 2 階会議室
参加人数	利用者 5 人

ご意見（要約）	考え
・暖房と換気の事です、換気のため窓を開けたい人、寒いので閉めたい人、それぞれあってむずかしい。「換気の時間です」と放送で指示してもらえれば、混乱やトラブルも少なくなると思います。	・コロナ感染が拡大し始めた 2 月・3 月頃は、放送で換気の呼びかけをして協力をいただきました。一斉に暖房が入る予定の 12 月以降、再び定期的に放送で協力を求めています。
・今後、コロナの感染が拡大していった場合、再びセンターの休館や部屋の利用制限などになる予定はありますか。	・春は緊急事態宣言もあり、大阪府の方針もふまえ、箕面市はセンターの休館等を決めました。その後も随時、府の対策会議の動きを注視しながら、市として必要な対応をお伝えしています。また、各サークルでも状況に応じ、自主的に活動自粛等を判断していただくようお願いしています。
・部屋の利用料金について、同好会とサークルの違いがよく分からないところがあります。	・平成 25 年（2013 年）からスタートしたセンターは、元々松寿荘で活動していた同好会の活動場所にもなっています。本来は有料が基本ですが、移転時の経過等をふまえ、利用者協議会所属の同好会は、当面の措置として、減免扱いとしています。なお、同好会（利用者協議会）には、色々な場面で、センター主催の活動に協力いただいております、センター周辺の清掃活動や検温キャンペーンもお手伝いいただきました。

・足の不自由な人もいて、荷物の持ち運びが重かったりしますが、サークル活動でも部屋に荷物を置かせてはもらえないのでしょうか。 ・さざんかの部屋ですが、机と椅子が重く、移動させるのが大変なのですが、何とかならないでしょうか。 ・誰もがゆったりと楽しんで過ごせる場所であってほしいと思っても、一方で、市の施設だから、何をしてもいいと考えていたり、金品のやり取りをしたりする人もあり、雰囲気がよくないと感じることがあります。トラブル予防のためにも、同好会入会時に活動の心得のようなものを配布し、基本的なルールの共有を図れないものでしょうか。	・貴重品や私物の保管は出来ませんが、団体の共有物につきましては、スペースの許す範囲で、置いていただくこともできますので、個別に事務室にご相談ください。 ・さざんかの部屋にのみ流し台が備わっており、主に書道や墨絵などの活動に利用していただいています。椅子も汚れを拭きやすい仕様になっていますが、重量がありご不便をおかけしています。ご利用の時間帯に別の部屋に空きがあれば、変更が可能な場合もありますのでご相談ください。 ・金品のやり取りなどは線引きが難しい場合がありますが、利用者協議会の定例会議の場などで、改めて基本的ルールについて説明し理解を求めています。
・いつも大変よく対応してもらっていて、十分満足しており、有難く感謝しています。	・毎年のアンケートでも、スタッフに対してお褒めの言葉をいただき、有難く思っています。常にその期待に応えなければいけないと考えていますが、これからもよろしくお願いいたします。 ・新型コロナ感染拡大の第1波の際には、センターの建物前に、皆様のご健勝を祈り、最前線で奮闘されている医療関係者や休業を余儀なくされている方々を応援するため、「幸せの黄色いハンカチ」を掲げましたが、第3波を迎えた今、コロナの収束等の願いを込めて、11月中旬から再度「黄色いハンカチ」を掲げました。